

# 一般質問 13人が市政を問う



10 番

服部 秀 洋 議員

## 二大イベントを見据え

防災に強い下呂市づくりを7年後に開催される東京五輪、御嶽高トレエリアが脚光を浴び始めた。また、2027年のリニア中央新幹線開通も、観光立市の明暗を左右する大きな事業である。安心安全な観光立市を内外に発信するためにも、防災面からの強化策が必至である。防災における三助について次の質問をする。

## 自助 実践に即した防災訓練の

実施はなされているか。

### ◆総務部長

下呂市総合防災訓練では、「協定団体・支援団体との連携訓練」と「地域における自助・共助」の2つの事に主眼を置き実施しています。自助・共助の観点から住民の方が自発的に行っていたことを目標としています。地域の防災リーダーとなる防災士の育成などに力を入れ、各地域の実情に合った実のある訓練にしていきたいです。

## 共助 自主防災組織の確立は

### ◆総務部長

自主防災組織の確立は市民の皆

さん一人一人が自らが地域を守るという意識を高めることが基本だと考えています。また消防団の力は不可欠です。各地域で連携して取り組んでいただけたらと思います。

## 公助

### ①市内の緊急輸送道路について

### ◆建設部長

市内では、国道・県道・市道合わせて31路線が緊急輸送道路に指定されています。災害時にこれらの道路が利用可能な状態になるよう、橋梁の耐震化等の取り組みが必要です。②改正耐震改修促進法に対応した条例整備を緊急に

### ◆建設部長

耐震改修促進法の改正により、大規模な特定建築物の耐震診断の義務化と診断結果の公表が行われることになりました。義務化された建築物に対する耐震診断補助金については、国・県の補助に沿って市の補助も行うよう予算の確保と補助金交付要綱の改正を行います。

③公助の要、消防団の重要性（女性消防隊の活躍を含む）について

### ◆消防長

消防団の重要性は、言うまでもなく多くの団員に各種ご協力いただいています。女性消防隊の成績はもちろんです。訓練等を通じ大変意義ある大会となりました。今大会を機に多くの女性が入団していただき、市の安全・安心のために活躍していただきたいと思います。



4 番

今井 政 嘉 議員

## 御嶽高原スポーツエリアの

活用について

2020年東京オリンピックの開催が決まり、国会議員・県知事・県議をはじめ多くの関係者がこのエリアを視察されているが、下呂市としてどのような夢が描けるのか。①現状について

### ◆経営管理部長

このエリアは平成21年度に、下呂市・高山市などで「飛騨御嶽高原ナショナル高地トレーニングエリア推進協議会」を設立し、PRや誘致活動を行ってきました。11月には協議会に県も加わり、協力して利用促進を図っていきます。②県に合わせ、組織の見直しを行うのか。

### ◆経営管理部長

県では「清流の国づくり推進課」がこのエリアを担当されますが、下呂市では経営管理部・小坂振興事務所・教育委員会そして指定管理をしているNPOとの連携を密にして対応していきます。

### ③健康増進施設としての展望は

### ◆経営管理部長

滝や森林浴、御嶽山登山などスポーツ以外に活用できる資源が数

多くあります。センターを運営するNPOでも、滞在型のリハビリや健康増進のためのサービスを提供することも目的としています。健康づくり指導の資格のあるインストラクターが常駐していますので、健康教室などの計画も検討されています。

事業を行う上でより専門性の高い外部への委託が必要ではないか。

①類似事業などがあり、外部監査が必要では

### ◆総務部長

下呂市でも監査の内容が複雑多岐にわたることから、専門の機関に委託して実施する手法も必要かと思いますが、下呂市の規模では予算面・人材確保や職員の負担も検討する必要がありますので、今の監査方針で実施していきます。

②市内外に発信するHPなどの充実を図るため、より専門性を高め外部へ依頼すべきでは

### ◆経営管理部長

自治体のホームページも単に情報発信だけでなく、各種手続きの窓口や寄付金の納付などその利用の可能性はどんどん広がっています。専門性のある事業者に委託する方法も考えられますが、経費の面や効果の検証も必要です。現在、職員を中心として外部の方も含め、ホームページの検討を行っています。利用者誰もが使いやすいサイトを目指します。



1 番  
田中 副武 議員  
(公明党)

### 東京オリンピックに向けて

2020年東京オリンピック開催が決定し、高地トレーニングエリアがある「御嶽」の利用拡大が期待される。今後の展開や取り組みについて伺います。

#### ◆経営管理部長

今回、国の制度を活用した器具整備を補正予算に計上しています。今後も制度を活用しながら施設・機器の充実に努めます。オリンピックに向け、トップアスリートにこのエリアを活用していただくことを目指していますが、それによる交流人口の増加にも注目しながら、市内の経済や地域の元気づくりにも取り組む必要があると思います。

### 命を守る対策について

国民の予防健康管理を推進する為「データヘルス計画」が打ち出され、27年度からの実施目標を掲げられ、市民の健康維持や医療を守り医療費削減が期待される。取り組みについて伺います。また自殺の原因と言われる「うつ病」早期発見のため「こころの体温計」の導入について、再度伺います。

#### ◆健康医療部長

データヘルス計画は健保組合が保有するレセプトを分析して、優先的に予防する疾病を選定し、費用対効果の高い保険事業を実施するものです。データの開示内容など不透明な部分もあり、具体的な連携・活用法は現段階では判断できません。本計画の進捗状況を注視し、市民の健康づくり運動を更に推進します。また「こころの体温計」につきましては、県の補助金を活用して導入の検討を進めます。

### 災害について

災害発生時、地域で支え合う体制の中心となる防災士は「各地域に1名を」と考えるが、今後も助成されるのか。防災士となった方々の今後の活動を伺う。

#### ◆総務部長

現在、市内に50名の防災士がおります。防災士が増えることで、確実に地域の防災対策が進んでいると思います。今後も助成事業は継続したいと考えています。年度内に可能ならば、防災士の方も含めた先進地視察研修を企画しています。また現在、年に数回防災士情報交換会を開催しています。そういった中から今後の活動について盛り上がっていくことを期待しています。



5 番  
各務 吉則 議員

### 2020年東京五輪に向けた飛騨御嶽高原トレーニングエリアについて

①濁河温泉高原スポーツレクリエーションセンターで10月26・27日の2日間、高所トレーニング国際シンポジウムが開かれた。このエリアについて、国・JOCに対してどのような働きかけをされるのか伺います。

#### ◆市長

JOC常務理事である橋本聖子衆議院議員にも同エリアを視察していただき、その視察を踏まえた質疑が国会の文教科学委員会で行われ、大臣が答弁をされています。市の力だけでは施設整備が難しいので、県や地元国会議員を通じて国に強力に要望して行きます。

②濁河温泉御嶽高地トレーニングエリアに至る県道落合飛騨小坂停車場線は大型車が通行できない。今後、アクセス道路としての整備は

#### ◆建設部長

当該路線は地形が急峻であり、未改良区間も約20kmと非常に長いものです。昨年度の補正予算で工事が再開された県道御岳山朝日線の改良促進とともに県に対して

要望していきます。

③「ふるさと林道緊急整備事業」として樫谷林道の2.3kmが整備されたが、既存の15.5kmは今後どのような計画か。また岐阜の宝もの「小坂の滝めぐり」のガイドコース整備の要望もあるが

#### ◆農林部長

樫谷林道は起点の約600mが特に地形的に険しく、落石による事故も発生しています。今後も県単林道・治山事業等を活用し、安全性を高めていきます。森林管理署と連携を密にし、樫谷林道全体の今後の改良について話し合いを継続していきます。

#### ◆観光商工部長

滝めぐりのコース整備は、本年もトイレ整備を行うなど優先順位を決めて出来る限り対応しています。

④飛騨御嶽高原高地トレーニングエリアへのアクセスは高山チャオから濁河経由が多いと聞くと、湯屋温泉・下島温泉・下呂温泉への観光の車両ルートは

#### ◆観光商工部長

濁河温泉の宿泊者はほとんどがチャオを経由しているのが現状です。また濁河温泉宿泊者は、下呂温泉や湯屋・下島温泉との連泊は多くありません。下呂にいられてから旅行が始まるような取り組みを今後も進めていきます。